

様式1

## 令和6年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和6年4月分～令和7年3月分
施設名	鳥取市青谷町特産物加工販売施設(青谷ようこそ館)
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
施設所管課名	農林水産部農政企画課

## 1. 事業評価

	確認する内容	指定管理者	施設所管課		
		自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況					
1	仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞き取り	計画通りに実施。
2	基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞き取り	職員4名(正1名、パート3名)
3	業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞き取り	自主研修実施。
4	平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5	利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6	減免対象者は、適切に減免しているか			聞き取り	減免対象者なし。
7	地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	書類・聞き取り	各種イベントに参加し青谷町の農産物、加工品PRを実施。
8	満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞き取り	アンケートを実施。
9	利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	
10	利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書類・聞き取り	喫茶メニューの商品開発などを実施。
II. 施設の維持管理の実施状況					
11	清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	
12	備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	
13	消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類	
14	再委託先の業務を適切に管理しているか	適切	適切	聞き取り	
15	点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞き取り	
III. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	書類・聞き取り	
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞き取り	適正に実施。
IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	適正に管理されている。
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	現地確認	

V. 施設運営に関する情報の公開				
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	間取り 行政・観光情報・るるぶ観光・フルーツネットワークサイト等で情報公開。HPの更新。
23	指定業務に係る文書の保存が適切に行われ、情報公開請求等に対応できるか。	3	3	間取り
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類
VI. リスク管理の状況				
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	書類・間取り 警備会社に警備委託し適切に実施。
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・間取り 緊急マニュアルを整備。

## 2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	令和6年度は全国的に消費活動が活発になり交流人口も戻ってきた体感があり、自主事業などの取り組みで増収に努めたが、思うように伸びなかった。入館利用者数前年度比は19%減、売上前年度比2%減と、売り上げ部門では昨年度微増していた喫茶部門では前年度比42%減だった。利用数・売り上げが大幅に減った要因の1つは「あおいち」などのイベントが復活し、代替としていた「ようこそマルシェ」の開催を減少させたことや、地域イベントへのようこそ館からの参加ができなかったことが考えられる。また、人手不足のため加工商品の製造も間に合わないことや、GWのダイキン朝市等稼ぎ時であるにもかかわらず、スタッフ内にコロナの感染者が出てしまい、臨時休館を余儀なくされたことなど、また12月の売上に関係してくる餅の販売準備に関しても人手が不足する予定が組めなかったため、例年を下回る販売数だったことなどが考えられる。一方で、昨年度から続く物価高騰が留まるところを知らず、特に水道光熱費などの固定費や食材費などが経費を圧迫したが、昨年度以上の経費削減に努めて、黒字決算となった。自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率は安定している。
施設所管課	昨年度に引き続き人手不足や物価高騰の条件下においても、経費削減などの工夫をし黒字まで持ち直したことは評価できる。かみじち史跡公園オープンに伴う交流人口拡大による利用者数増にも期待はあったものの、低調であった。

## 3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	①ダイハツ生活協同組合との20世紀梨の大口取引は今年も成立したが、昨年よりも梨の収穫量が減少することが告知されていたため、注文数もそれに合わせて減少したため、販売売上は減少し、梨の価格高騰で取引数も減少した。②今年度もアイスクリーム販売好調、かき氷・果実のピネガーとともに売れ行きが順調となった。特に運アイスに関しては鹿野町の運ウォークとの連携で売上が増加した。また相屋神社の春の例大祭や青谷地域の年中行事の苧蒲綱にも提供している。③自販機事業は昨年より減少。要因として、青谷上寺地遺跡展示館の閉館に伴い、観光客の減少が関係していると考えられる。④ワークショップ的な体験観光等の開催は、人手不足のため思うように開催できなかった。⑤商品開発として芋けんぴを販売しており、お客様からのご要望により塩で味付けをした芋チップスの開発・販売も行い、売上に貢献した。⑥ダイキンアレス青谷で行われる朝市には人員不足のため、出店できない為、かちべ伝承館様に販売依頼をし売上に貢献した。⑦今年度もワカメを注文していたが、9月頃までに完売し売上に貢献した。⑧青谷ようこそまつりでは、昨年かき氷が良く売れていたため今年は準備をしていたが、時期が10月ということもあり、売上は去年よりも減少した。⑨「おもてなしプロジェクト(地域の行政・民間団体・個人などが連携)」の活動は、前年度の「青谷かみじち史跡公園」オープン後に、一時停滞したが、組織編成の刷新と新規の参入者などでより密接な連携と発信力のあるSNSなどのツール活用で、一段階上の取り組みが出来たと思う。残念ながら、今季を最後に青谷ようこそ館の指定管理業務を辞退することになり、プロジェクトのために開発した商品の加工・販売が出来なくなることや、連携してきた地域団体・施設・個人・行政・学校などと協働できなくなるのが心残りだが、せめて青谷高校様・かちべ伝承様と企画した弥生由来のオリジナルスイーツ「ハスアイス」だけでも新指定管理者様に引き継いで頂ければ嬉しく思います。
施設所管課	地域連携を行いながら、昨年度に比べ自主事業収入を増加させた。次の指定管理者が事業を行う際にも活用できるものを残すことができた。

## 4. 総括コメント

指定管理者	令和6年度は青谷かみじち史跡公園が完成したこともあり、交流人口も増加した。県外からの観光客を期待して、青谷町をあげて観光客を「まちなか」に誘導するためのマップやチラシも作成・配布していたが、かみじち史跡施設への来館者数も期待程の数字が出ず、必然町への周遊客も少なく、その他上記のような複合的要因で青谷ようこそ館の利用者数・売上げも予定を大幅に下回った。令和4年度末から続く人手不足は今年度になっても解消されず、販売・加工・営業・商品開発・イベント・地域振興等々、どの業務も納得のいく内容にはなっていない。特に営業や加工販売は売り上げに関わる大事な業務だが、通常営業をする中での作業には限界を感じ、食材や加工方法などを工夫して少しでも効率の良い業務の改善を行ったが、追いつかなかった。当館のオリジナル加工商品は大変好評をいただいており、一部のお客様は大量に購入されるなどのご期待に沿えなかったことが残念でした。また、販売商品の主流である野菜等の品ぞろえが少なかったことも挙げられる。こちらは年々出荷される農家さんが減少してきたことも関係しているが、昨今の異常気象により作物の不作も関係していると考えられる。メインターゲット層である地域のご年配の方たちの来館が減少に拍車をかけた感がある。地域振興については「あおいち」や「あおやようこそ祭り実行委員会」、「青谷地域にざわい創出実行委員会」、「青谷地域づくり連絡協議会」、「あおいち部会」、「青谷町観光協会」、「鳥取市西商工会」の事業などに参加し、青谷町の活性化に協力した。最後に、新型コロナウイルスがようやく収まり、いよいよこれからというところで指定管理業務を断念せねばならなかったことは本当に残念で、まだまだ実行したい企画がたくさんあり心残りではありますが、出来るだけのことは精一杯やったという自負もあり複雑な心境です。青谷の加工・販売できる観光施設としての役割・貢献はあまりできませんでしたが、「まちづくり」の観点から始まった「かみじち・おもてなしプロジェクト」で地域の方と協働して実績を作り、プロジェクト組織を残せたことは、微力ながら青谷町のまちづくりの一助になれたように思います。短い間でしたが、所管課の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。
施設所管課	指定管理期間を通じて苦しい経営状況が続いていたが、最後は黒字収支に戻すことができた。地元団体・地元高校等と協働しながら青谷地域の活性化に積極的に取組んだことで育まれてきたつながりは、次の指定管理者にも引き継がれていくものと考えられる。

確認方法	書類、間取り、現地確認
------	-------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている





